

2026年3月号
信頼を礎に、新しい政治を。

Next
ARAKAWA

自民党プレス

どんな事も私たちにお気軽に
相談してください。



自民党荒川区議会

自民党 Lib Dems
Liberal Democratic Party of JAPAN

03-3802-4625

〒116-8501 荒川区荒川二丁目2番3号 5階 自民党控室



地元の誇り・鈴木誠也選手が大活躍！

荒川区出身の鈴木誠也選手がWBC韓国戦で2本塁打4打点の大活躍を見せ、地元・荒川も大いに盛り上がりました。区ではパブリックビューイングを開催し、多くの区民が熱い声援を送ったほか、区議会・区職員・地域の皆さんが一体となって応援動画も制作。荒川から世界へ挑む鈴木選手に、まち全体でエールを届けました。荒川区の誇りである鈴木誠也選手の世界での活躍は、地域に大きな勇気と希望を届けてくれました。



あらBOSAI2026大盛況！！



あらBOSAI2026は、3月8日に開催されました。子どもから大人まで多くの方でにぎわい、会場は終始活気に包まれました。VR防災体験車や起震車、消防・警察・自衛隊の車両展示、中学校防災部による体験コーナー、キッチンカー、スタンプラリー、**ジャガー横田さんのトークショー**など、楽しみながら防災を学べる企画がそろい、幅広い世代が防災を身近に感じる機会となりました。首都直下地震への備えがますます大切になる中、こうしたイベントを通じて、一人ひとりが「いざという時」に備える意識を高め、地域みんなで防災を考えるきっかけになったと感じます。



長沢衆議院議員と自民党区議団

地震の際のけがは、家具の転倒・落下・移動が原因になることも多く、日頃からの備えが大切! 荒川区では、つっぱり棒やL字金具、飛散防止フィルム、ベルト式器具などが**助成対象**となっています。**組み合わせによっては1万円以内で購入できる例もあり、比較的取り組みやすい防災対策**です。まずはご家庭の家具の安全対策から始めてみませんか。

令和8年2月会議で一般質問行いました



子ども・福祉・防災・地域活性化を幅広く提案

子ども・福祉・教育・産業・防災・広報など幅広い分野について質問しました。まず、来年度から始まる5歳児健診について、3歳児健診では見つけにくい軽度の発達特性などを早期に把握し、就学前から適切な支援や学校との連携につなげる重要性を指摘。そのうえで、専門職の確保、健診方法、実施後の療育や教育へのフォロー体制をどう整えるのかを質しました。次に、障がい児の通学に必要な移動支援について、ガイドヘルパー不足や報酬の低さなど現場の課題を挙げ、必要とする家庭が安心して利用できる支援体制の整備を求めました。また、今後の学校建て替えに伴う通学環境の変化にも配慮を求めました。不登校支援では、区内で400人を超える児童生徒がいる現状を踏まえ、学校復帰だけでなく「社会的自立」を見据えた支援の必要性を強調。フリースクール、通信制高校、高卒認定、就労など多様な進路の情報提供や、安心して過ごせる居場所、遊びや体験の機会の充実を提案しました。さらに、「ものづくりのまち荒川」の発展に向け、職人や企業などがつながる異業種交流会の開催や、ものづくり職人をテーマにした子ども向け職業体験事業の実施を提案しました。このほか、高齢者の歯科健診の拡充、在宅避難者向けガイドブックの整備、防災士を生かした地区防災計画づくり、アニメや映像を活用した荒川区の魅力発信の強化についても区の見解を求めました。



明戸まゆみ議員

教育・産業・防災・区の将来像を幅広く提案



教育・産業・土木・総務・防災など幅広い分野について質問しました。まず、学校建て替え計画に伴い遠距離徒歩通学が生じる場合の区の対応について質すとともに、小中一貫教育については、9年間を見通した教育目標の設定にあたり、小中一貫ならではの強みや特色ある取組を生かすよう求めました。次に、区内企業の人材確保支援として、区内企業に就職した方を対象とする荒川区独自の奨学金返還支援制度の創設を提案しました。現在は保育士向けに限られている支援の対象を、製造・建設・運輸・介護など区内の主要産業にも広げるべきと訴えました。土木分野では子どもの遊びの幅を広げるため、平常時は一般の公園として利用しながら、長期休暇中にはプレーパークとして活用できる「半常設型プレーパーク」の整備を提案しました。土を露出させた遊び場やロープ遊びができる樹木火起こし体験が可能な竈ベンチの設置など、荒川区に合った形での導入を求めました。さらに、荒川区基本構想については、これまでの「幸福実感都市あらかわ」のようにそれだけで区の将来のビジョンを区民と共有できるようなキャッチフレーズを定めるべきと提案しました。防災分野では不燃化特区事業や耐震改修の見直しに加え発災後に適切な治療を受けられず亡くなる「未治療死」を防ぐための具体的な取組についても、今後重点的に検討すべきと区の見解を求めました。



西川こうへい議員